

伊方原発の再稼働への動きが進んでる！ ー日本のストレステスト評価の最前線からー

講師 川井康郎氏（プラント技術者の会）

日時 2月17日（金）午後6：30（開場6時）

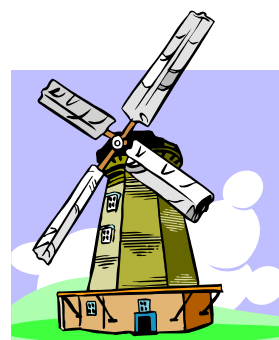
場所 松山市コミュニティセンター2F 会議室1,2
（1月10日講演会「欧州のストレス批判から考える」と同じ場所です）

資料代 1,000円

伊方原発の再稼働を左右する可能性の大きいストレステストの評価がすでに始まっています。

去る2月8日には経産省原子力安全・保安院は、関西電力大飯原発3,4号機のストレステストの評価を妥当とする最終審査書を取りまとめる旨を表明しました。この時、意見聴取会委員として、審査書に批判的な意見を述べられた後藤政志さんの随員として、聴取会に同席された川井さんのお話を聴きます。

川井さんは、1月10日、松山の「欧州のストレステスト批判から考える」の翌日、EUのメンバーと共同で東京において、日本のストレステスト批判の講演をされました。



川井康郎氏プロフィール

プラント技術者の会(注)メンバー。プラントエンジニアリング企業勤務を経て、現在、コンサルタント会社代表。約40年間にわたって、主にエネルギー関連プラントの設計ならびにプロジェクトマネジメントに携わる。

(注)＜プラント技術者の会＞

複数のプラント建設専門会社の現役、OBからなる集まり。1970年時代以来、公害問題や原子力問題に関心を持ちつづけた技術者たちが「フクシマ」をきっかけに再度、脱原発活動を開始した。



主催 ストレステストを考える講演会実行委員会
(國元) 090-9771-9572 (阿部) 089-915-0619